

# 地域医療の現場から ● 105

今回はセコメディック病院の最近の取り組みと、今後の展望について紹介致します。

昨年、当院は様々な取り組みを行いました。2月の訪問診療・訪問服薬指導開始にはじまり、4月には訪問リハビリサテライト(出張所)を設けるなど、在宅医療の強化を図りました。お陰さまで多くの患者様のご依頼をうけ、在宅医療のニーズが高まってい



セコメディック病院  
院長

星 誠一郎

ることを実感いたしました。7月には訪問歯科診療開始、11月には2カ所目の訪問リハビリサテライトを設置しました。在宅医療に必要なピースが全てそろい、様々な医療をワンストップで提供できる体制が整いました。

一方、当院は地域密着型の

## 院長から地域の皆さまへ

総合病院であり、中核となるのは急性期医療です。ここも強化すべく、本格的な救急部を創設しました。効果はすぐ

れることが地域貢献の一つと考えておりますので、この面でも大きな貢献ができたと自負しております。さて、今年も大きなプロジェクトを実行する予定です。実は現在休床中の病棟があるのですが、ここを再開し、地域包括ケア

病棟として活用します。団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、国は地域包括ケアシステムの構築を急いでおりますが、その要となる病棟として、さらに地域に貢献できる態勢が整うこととなります。

もう一つの当院の柱が予防医療です。かねてから健

診・人間ドックに力を入れてきました。昨年「セコメいきいき健幸作り教室」という運動機能や認知症のチェック、予防指導を行う会を定期的に開催しております。さらに、今年「アンチエイジング」をキーワードにした取り組みを開始する予定です。

これらを可能にしているのがスタッフの充実です。医療界は大変な人手不足なのですが、当院は医師、看護師をはじめ多くの人材が集まるようになってきています。当院の取り組みが医療人からも評価されているということであり、大変心強く思っています。今後一層地域に貢献できるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。